

## DesignReview 3.7 の Range Rejection 機能

DesignReview 3.7 には、Range Rejection と呼ばれる機能が追加されています。この機能は、一定のサイズ以下の小さなエレメントを表示しないように設定し、描画に要する時間を短縮するものです。それぞれのビュー(main/plan/elevation)に対して、異なるレンジを設定することができます。また、それぞれのビューで、Range Rejection の ON/OFF を切り替えることができます。なお、この機能により表示されていないエレメントであっても、属性の表示などの操作を行うことは可能です。

レンジの指定は、X, Y のピクセル数で行います。指定したレンジよりも小さなエレメントは表示されなくなります。なお、X=20, Y=100 のようなレンジの設定を行った場合、X=100, Y=20 以下のエレメントも表示されなくなります。

### 1 デフォルトの設定

DesignReview 3.7 のデフォルトでは、Range Rejection 機能が ON に設定されています。各ビューのレンジ設定値は、以下のようになります。

- main ビュー            10 x 100
- plan ビュー            40 x 400
- elevation ビュー      40 x 400

なお、デフォルト設定値では、PDS などで作成したデータの表示を行った場合、エルボーなどのエレメントが表示されなくなる場合があります。

### 2 キー入力コマンド

Range Rejection の設定は、DesignReview 内のプロンプト(CMD>)に対して、コマンドをキー入力することによって行います。レンジの設定は、各ビューに対して異なる値を指定することができます。また、レンジの設定値を変更することなく、Range Rejection 機能の ON/OFF を切り替えることができます。特定のビューだけ Range Rejection 機能を OFF にする場合は、そのビューに対するレンジを X=0, Y=0 に設定します。

- 全てのビューに対して Range Rejection 設定値を適用する  
**reject**

CMD>プロンプトに対して、**reject** と入力します。3 つのビューに対して、X, Y の値を入力します。全てのビューに対して設定値が適用され、表示が更新されます。

- 特定のビューに対して Range Rejection 設定値を適用する

**reject main**

**reject plan**

**reject elevation**

CMD>プロンプトに対して、上記のいずれかのコマンドを入力します。そのビューに対する X, Y の値を入力します。指定したビューに対して設定値が適用されますが、表示の更新は行われません。

- Range Rejection を ON に設定する

**reject on**

CMD>プロンプトに対して、**reject on** と入力します。全てのビューに対して、Range Rejection 機能を ON に設定します。なお、表示の更新は行われません。

- Range Rejection を OFF に設定する

**reject off**

CMD>プロンプトに対して、**reject off** と入力します。全てのビューに対して、Range Rejection 機能を OFF に設定します。なお、表示の更新は行われません。

- Range Rejection 設定値を確認する

**reject settings**

CMD>プロンプトに対して、**reject settings** と入力します。Range Rejection の ON/OFF および各ビューに対するレンジの設定値が表示されます。

### 3 起動時の設定

デフォルトでは、DesignReview の起動時には Range Rejection 機能が ON に設定されています。DesignReview の起動コマンドに対して -o オプションを指定することにより、起動時の Range Rejection 機能を OFF に設定することができます。

**drv.exe -o file.dri**

- **Start** メニューの設定変更

DesignReview に対するショートカットの設定を変更することにより、**Start** メニューから起動する DesignReview の Range Rejection 機能を OFF に設定することができます。Windows NT Explorer などを使用して、C:\WINNT\Profiles\All Users\Start Menu\Programs\Intergraph DesignReview\DesignReview のプロパティを表示します。Shortcut タブの Target を、C:\drv\DRV.EXE から C:\drv\DRV.EXE -o へ変更します。

- Open コマンドの変更

Explorer などから.dri ファイルをダブルクリックして DesignReview を起動する際の Range Rejection 機能を OFF に設定することができます。レジストリエディタ (regedt32.exe) を起動します。HKEY\_CLASSES\_ROOT ウィンドウで drifile\shell\open\command を表示します。ウィンドウ右側の<No Name>の行をダブルクリックします。登録されているコマンドを、C:\drv\DRV.EXE -m y %1 から C:\drv\DRV.EXE -m y -o %1 へ変更します。